

## 自由記載（意見）

私の住む集落は奥地で、30年もしたら消滅集落になるところが危惧される。
住宅地周辺も荒廃地が増え、さらに獣害に悩まされている。
今の農業は、肥料、種苗、機械等の諸経費が増大し、利益を出すことが難しい。
奥地でやせた狭い土地での農業は無理である。
残された農地・山林をどうしたものかと途方に暮れている。町に寄付もままならないと聞いており、時々DMで届くソーラーメーカーが怪しい会社でないなら一部でも売却したい
耕作していなくても、周りの畑に迷惑がかかるので、雑草処理等が大変
現在、田を貸しているから良いが、近い将来返されたら、貸すなり売却したい。
農業を取り巻く環境が悪く、若い人の就農意識も持てない。将来への農業展望が見えない。
農業後継者がいないのは、農業は儲からないから。オータムキュートなら儲かる可能性がある。
何十年も減反政策に協力してきた結果が、耕作放棄地増加の原因だと思う。
5～6年前に農業委員会から利用意向調査が送られてきたが6ヶ月過ぎても回答がない。毎年農地パトロール時に回答どおりになっていなかった場合は農地中間管理機構との協議を勧告するなど脅迫文が送られてきた。農地中間管理機構とは何なのか。いまだに音沙汰がない。
自分たちのライスセンターもあと2年位で大部分を縮小予定である。
借入地について、農産物の価格に左右されるため、作業代で農地管理をした。資材等の高騰もあり、借地をしても今の価格では経費が賄えない状況である。
父が元気な時は米作りをしていたが、今委託している、昔はお米をもらっていたが、今はお金を支払っている。土地を所有していることで生活を圧迫している状況なので土地を売却したい。山林も同様である。農地や山林が所有者にとって宝であるとうれしいが、今は期待できないので早い時期に売却したい。
日本は食料自給率が低い。安定した収入が見込めれば、若い方も農業に携わる方が増えると思う。農業に夢が持てるシステムを願う。
機械があるから成り立っているが、機械が壊れ委託になると、続けるのは厳しい。
田があるから仕方ないが、金銭的にも大変だし、トラクターが動いている内はがんばろうと思うが不安である。荒らして草だらけにしたら周りに迷惑がかかる。高齢なので道普請もどうしたものかと思っている。
貸付申請しているが回答がない
将来用水路の維持管理が出来なくなる。早めにJAが中心になって耕作していかないと、平坦地でも遊休荒廃地になってしまう。

<p>ライスセンターをお願いしているが、高齢のためこの先心配。農協等でしてもらえないでしょうか。</p>
<p>耕作放棄地が多くなり雑草が生い茂るようになりそのままとなっている。1年に2回位、耕耘するような法律ができれば良いと思う。</p>
<p>農地を無償で貸しているところがあり、売却したいがどこに相談したら良いか思案中。家の近くを除き、全て売却したい。</p>
<p>農地の資産価値も下がり、野菜類を耕作しても安価でありメリットがない。</p>
<p>今すぐ売却しなくても良いが、誰か買取してもらえればありがたい。</p>
<p>花農家が年々減少しているのを肌で感じているが、自分でできること、その中で産業化できそうなモノやコト、今後の町に貢献できる事を地道にやっていきたい。</p>
<p>農業を続けられないため、農地の処理に悩んでいる。どの様にしたら良いか考えがまとまらない。誰に貸したら良いか当てがえない。</p>
<p>町のカーネーションは、市場で高い評価を得ており、生産者も高いレベルと技術を持っている。花き生産の町であったにもかかわらず、後継者不足で衰退する一方で大変残念である。</p>
<p>出来ることなら手放したいが、その手段が分かりません。</p>
<p>米や野菜を買い取ってもらえ、その金額が明確になっていれば、金額次第だが、作付量を増やすかもしれない。</p>
<p>農地の資産価値も下がり、野菜類を耕作しても安価でありメリットがない。農地の貸付制度があるなら、価格や条件を確認したい。</p>
<p>肥料・農薬等の値上がりに対する対応が商工業者等に比べて遅い。水稻栽培は大きな赤字。</p>
<p>女手ばかりの家なので限界がある。簡単に作業できる機械や補助金等あれば、楽になり良いなと思う。</p>
<p>若者は仕事をしながら農業をしないので、法人化して一括管理などすれば、何とか食を守れるかと思う。</p>
<p>鉄骨ハウスは近い将来花き生産者に貸与したい。</p>
<p>世界の食料事情等から、特に食料自給率が低いことが気がかりである。従って、現在の耕作可能な農地の荒廃を防ぐことを第一に考えることが肝要だと思う。</p>
<p>兼業農業では経費ばかりかかり儲からないので、経費が少なくなることが必要である。</p>
<p>食料自給率を高めるために、早急に取り組む必要がある。農林業に従事する方ややる気のある方を支援してもらいたい。</p>
<p>災害予防の観点からも、森林を守り、農地の荒廃を防ぐことが必要だと思う。</p>
<p>小規模ながら作った作物を町の駅などに持っていく高齢者もして、収入だけでなく生きがいになっているので、そういう方も大切にもらいたい。こうした方や自家用栽培をしている人達が里山を守っていると思う。健康を守る上で、安心・安全な国産品を食べていきたい。</p>

町内には手入れをしていない田畑・山林が多くあり、近くの住民は大変迷惑している。地主の方は遠方でも、せめて年に1度ぐらいは自地を見回り、整えることを実行してもらいたい。
理想とする未来の農業と現実（後継者がいない）とのギャップがあり、何も言えなくなってしまう。
耕作放棄地があり、枯草等の野火火災が心配。
事業縮小農地・貸したい土地があれば、専業農家向けでなく、町が仲立ちした「町民自由農園」とした区画貸しをすることにより、年々増える定年後の高齢者に向けた、趣味農業での健康維持、荒廃農地が少なくなると思う。対個人貸しは返済トラブルを考えると難しい。町・団体が仲立ちされることにより、信頼と安心で、土地の利用先を考える方が出てくると思う。
水稲の代替作物のメニューは。
兼業でもトラクターの馬力アップ、区画整理、草刈効率化により時間が節約できれば、規模は拡大できる。そのためには、農地が離れていないこと、なるべく大きいことが必要。自給的農業の拡大版として、大規模兼業農家という選択肢も考えたかどうかと思う。
農地を他の方に貸しているが、いつまでやってもらえるか心配。
畑地として可能な所は行政として農業が出来るようにしていかないと、町の農地がなくなってしまう。山林化しているから山林にするというのは問題ある。
機械の使用が不可能な所は、畑地から山林化すべきと思う。
畑地ではあるが作物が育たなくなっているところもある。道路・水路の整備をしないと、農業が続けられない。
町に来て農業を始めたいと思うようなことにつながることを考えることが、今後の農業の発展に必要。
農地に影響のある周辺山林の荒廃についての考慮が必要だと思う。
隣の休耕地（荒地）から雑木が根を広げ困っている。どう対処したら良いか教えてもらいたい。
農地・水路管理等に関し、活用可能な交付金等に関して、町からの積極的な情報提供を望む。又、申請等に当たっては、不慣れな方もいるので、丁寧なアドバイスをお願いします。
農業の魅力向上、安定した農業利益が得られるような施策が必要
米単価が安すぎるので、水田の維持が難しい。米単価の見直しが必要
農業委員会が何の為にあるのか不思議である。荒地を少なくするために何をすれば良いのか、農業委員会でそういった議論は今までなかった。農業を真剣に考える人を農業委員にするべきだと思う。
農業経営の中で、経営以外の問題が多い（鳥獣対策、山林等日陰対策）
自宅の上に10ha位の農地があり、極地豪雨の恐れがあるので、対策を講じるべき。（貯水池等）毎年水害が出ている。

自分で値段が決められず、経営が安定しないのが、食糧自給率が上がらないひとつの要因だと思う。生活の安定のない農業は駄目になると思う。
今後迫りくる食糧危機への対応としても、農地・耕作者の育成は喫緊の課題だと思う。
減反政策により、いたる所で荒廃農地が広がっている。海外に頼った食料体制は心配である。
現在の農業委員会を解散し、公募による企画力や創造力を持った農業改革に意欲ある人材の登用は必要だと思う（区長推薦は意味がない）
土地があるがための悲劇がある。相続ができないために、地目変更ができず、固定資産税を払い続けなければならない、今の制度を恨む。農業委員会から良い方法があれば教えてもらいたい。
農業委員会が毎年地目を確認する意味を教えてもらいたい。
菌ちゃん農法というものが、今あちこちで可久さんされて実践者も増えている。
昔は30aの田畑で食べていけたのですが、今は農業で食べていきたい専業農家なら2ha以上で農業法人等組織化しなければ食べていけないでしょう。
貸付地以外は耕作放棄地であるので、放棄地を減らす公の指導力に期待したい。
農地として使う者もいないので、相続放棄したい。
農地・住宅を含めて貸付したく、今後町に相談したい。
4～5年前に農地の件で農政係に相談したことがあったが、そのままになっている。方向性が見いだされることを願っている。
農地として不可能な土地以外は、後継者とも相談し、荒廃地化しないように活動していく予定である。
労働力の確保として、外国からの人材の活用（生活習慣等課題があるが）
本人が年なので、農業の担い手がない。
台風19号以来、佐久穂町の不動産（宅地、農地）は、不動産の取引時に災害に弱い旨の土地の告知責任が不動産法により追加され、実際に担保能力があまり無くなり、農地を維持していきたくても、その価値がほとんど無く、又高齢者が多くなり、農業に従事していてもどんどんその力が弱まっていると思う。
父の死後田畑を相続したが場所を具体的に確認したことはなく、今後の活用についても余り考えることはない、将来の活用・事業計画などあれば協力できることがあるかもしれないので、提案いただければと思う。
耕作地が八郡なので、シカ・タヌキなどの害が多い。農地を持っているだけで税金が高いので放棄したい。
小規模で稲作をやると肥料やコンバインなど逆にお金がかかり大変。ますます農業離れが進み、日本の未来が心配。

大部分が機械でできる米作は米が安く、コンバイン、粃摺りを委託すると自分の手元に残るのは収量の35%、それから肥料、農薬、機械等の燃料代を差し引くと赤字となり、少ない年金を投じて農業をする意味も所得もない。ならば年金を投じず、苦勞しない方が良いので今年から稲作を全部やめた。

グリーンビジネスについて、広い視野で追及してゆくと、土地（畑、田、山）の有効活用になる。退職後20数年間これ一筋でやってきたので、見学する希望があればご案内します。

農地を借りる際のルール徹底、①耕作地エリア外の管理（土手の草刈等）②地元の道水路普請への参加

「農作業後トラクターが道路に泥を落としてホコリになり苦情が寄せられる」無線広報について、これは受託農家を悪者扱いにしていると感じる。町として農業振興を掲げていくのであれば、受託農家を援助する姿勢を広報でアピールしてもらいたい。こういった放送は控えるべきだと思う。

通学路横の用水路について、用水路が危険だから蓋をしてほしいと要望について理解できるが、厚い鉄板で蓋をしてしまったので、農業用水の利用権をないがしろにされたと感じる。農機具を洗うとか灌水等で必要な時に非常に重い鉄板をはずすことになった。要望と農業支援姿勢のバランスの問題を感じる。

有害鳥獣で耕作放棄したり、遊休荒廃地を耕せる方がいれば、貸付けても良い。固定資産税+ $\alpha$ になればさらに良いと思う。

農業、特に米づくりは赤字だけで収入にならない。物価が高すぎる。

補助金まで出し減反政策を進め、現在は管理しないと追徴課税とは矛盾しか感じない。今更農業振興を掲げても全く関心が持てない。

荒地となっている土地に太陽光発電が増えてきたが、万が一災害によりパネルからの有害物質の流出がないか懸念。町独自の条例はあるのか、近隣住民の同意も必要だと思う。

田畑までいく道路が荒れ果てている。そのような農地をどのように管理しろというのか、町の考えを聞きたい。

農地の集約化や農業の規模拡大は、農薬や化学肥料ありきの発想で、環境保全などの観点から外れると思う。

小規模農家や家庭菜園など自給的な農業を営む方にとっては、小さい方が借りやすい。造成は、土をひっくり返してしまう問題もある。

小布施町に知人がいるが、農協で田の管理をしているという。こちらでもお願いしたい。

規模拡大ばかりがこれからの農業政策ではなく、多様な経営のあり方を守ることの方が、より強い農業、社会全体を築く力になると思う。

## 自由記載（提案）

田舎暮らしを考えている都会の方（退職者等、できれば若者）の移住を推進したらどうか。
プルーンのブランド化に取り組んでいるが生産者の減少が課題。果樹は収穫するまで5年かかるので、苗木を植えて圃場とし、新規就農者に貸し出す計画したらどうか
農家の高齢化が進んでおり、今後支障が出ると思う。町・農協等で出資し法人化等を考えていく必要があると思う。
小中学生に対し、「働くことの意義」「農業の魅力」等について、学ぶ機会をつくる。
若手農家（50代くらいまで）の交流会、町、JAと農家との意見交換会
花き・果樹の旧団地を再整備し、新規就農及び営農拡大希望者とのマッチング
優良農地の指定、水路の保全策検討実施
農業技術講習会、有機（準有機を含む）農業等の拡大支援
農地保全意識の醸成・啓発（農地として適正に管理しなければならない、周囲の方に迷惑をかけないといった意識の醸成）
地区を集団化し、共同した米の栽培
ドローンを活用し、合理的な機会化の運用
積極的に農業就業者の募集（好条件）
近隣や一般の方に耕作放棄地の売却
耕作放棄地の転用（住宅、地区子ども広場、駐車場）
売却、貸付、新規就農、転用等の積極的な情報発信
適地としての省力作物の導入、高収益となる薬草・特殊作物
農地と山林に距離を空ける必要がある。特にカラマツ
土地台帳デジタル化、ドローンによる空撮、DX技術で台帳、AIによる書類審査
各種企画立案し、関連団体への指導（地域おこし協力隊の活用）
元気が出る公園を大きくし、ソーラー発電をやり、大規模高齢者住宅をつくる。
観光用花畑等の推進、観光バスの呼び込みによる町外からの集客を増やし、農産物販売の活性化。
都市部の方が農業（農家）の実態を体験することが重要。八千穂高原の豊かな自然を感じながら、土や野菜と触れ合う農作業体験をイベント化して「ワーケーション」を行うと良いと思う。
不動産業者と協議・相談し、農地付きの宅地を販売したらどうか。

単に農業を継続する為の一時期のバラマキ事業等では、日本の農業は20年後位に完全に消滅している。根本的な成長や持続は、自給率の拡大、人口増加政策、都市一極集中の解消、地方の繁栄施策、等の国家反映の基本的政策の取組が必要。これらが実施されないと、30年後は日本の土地は半分以上が外国人の所有となってしまうと心配される。

## 自由記載（要望）

日向開田に野菜を作っているが、軽トラ・トラクター等の出入りを良くしていただきたい
畑の境が分からず誰か知らない方が使っている。どうすれば良いか分からないので調査してもらいたい。
十二平に開田があるが水利の便が悪く困っており、貸してもすぐに返された。
耕作者に貸している農地を買い取ってもらえるか確認してもらいたい。価格は評価額で良い。又はいったん町で買上げ、農業法人等希望者に売却してもらえれば最善。買い取ってもらえないようであれば太陽光発電事業者に売却したい。
農業用施設の修繕に係る費用が原因で、離農する方や新規参入へのハードルになっている。持続可能な産業を目指す上で、大型施設、大型機械類の修繕等への補助制度があると良い。
規模拡大にあたり、アルバイトやパート等の働き手不足が今後懸念される。シルバー人材センター以外にも窓口を増やすなど、雇用対策が必要だと思う。
農協だけに頼るのではなく、町職員とも花き産業について意見交換したい。
専業農家や大規模農業ばかりに目を向けているが、小規模な兼業農家にも、圃場整備、農地改良、農業インフラ（水路、農道）の整備といった支援が必要だと思う。それにより農業の効率化が促進され、後継者問題、耕作放棄地問題の解消につながると思う。
資材・肥料等の高騰が激しいので対応策の検討を（自家製肥料の作り方等）
町とJAが緊密な関係で対応してもらいたい。
町内の農地を調査し、現状を把握してもらいたい。
上区全体の10年後は、後継者不足で耕作しない農地が多く発生すると思われる。農地の集約化・集団化・法人化等どんな方法が良いか、各地域で考え始めなければ、1～2年では答えは出ない。住民だけでは中々進まない気がするので、外からのアドバイスなど行政の力を是非お願いしたい。
年々耕作者が減少し水路管理が大変になっているので、町で何とかできないか。
作業性の関係で、まとまった圃場が欲しい。
農地造成事業は、受益者負担が大きいのので町の支援が必要だと思う。
荒廃農地解消対策として、若い農業経営者への応援を考えてもらいたい。
千曲川沿いの田は石が多く、畑地転換は難しい。客土への補助金等があると助かる。
耕作放棄地となっている農地をどなたか無償でも良いので譲りたく、町がその橋渡しをしてもらえるとありがたい。

年金制度の拡充（農業者も厚生年金並みの年金が受給できるなど）
農振制度の見直し（1集落数団地の優良農地を確保し、集中的に補助、融資、所得補償など）
松井地区に農地を所有している。元気なうちに処分したいので、情報があれば教えてもらいたい。
馬越から柳沢の間の休耕田の活用を考えてもらいたい。
固定資産税を払っていてもその額には到底及ばず、今の佐久穂町の宅地・農地は額以下になっていると思う。農業振興を望むのであれば、農地位は税額をもっと低くしてもらいたい。
林地化した畑の樹木の伐採・片付けの補助制度がほしい。
八千穂高原インター近くは平地が少なく、企業が用地取得に苦労している様に思う。農業振興地域に指定されているため売買が難しく、後継者がいない状況では荒地となるばかり。そこで、農業振興地域の指定を解除して企業に売買できるようにすれば、荒地も減り、企業が進出すれば雇用が生まれ、税収も増えると思う。
自分でも所有する農地等を管理できないところがあり、今後も個人では難しい。今のままで良いと思っているわけではないが、管理を個人に全て負わせていては荒廃は進むばかりである。町として有効な見直しが必要だと思う。
1人暮らしなので、訪問して聞いてもらいたい。
古い使わなくなった農業用機械の処分に困っている。町として支援やアドバイス等があれば教えてもらいたい。
Iターン者への補助金や支援等は充実していると思うが、自宅に土地があって定年退職された方が新たに農業を始めたくても、補助金がないため始められない方がいる。そのような方を支援、もともと住んでいた方にとっても住みやすい町になってもらいたい。
健康を保つためにも安全な食料を生産する農家に町で補助金を出してもらいたい。有害な農薬を使う営農指導はやめてもらいたい。
果樹の凍霜害対策等、自然環境変化による対応策
地元での季節雇用のマッチング、ダブルワークなどで早朝など短時間ワークのマッチング
季節雇用者等のための宿泊施設